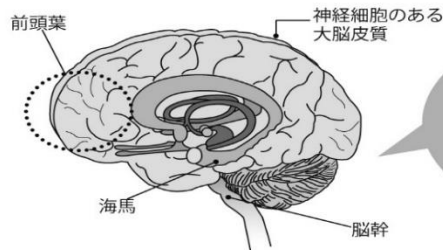


ちょっとだけなら
大丈夫！
そう思うあなたは
よく知って！
お酒は20歳になってから！

軽い気持ちで危険を招く！

アルコールの害

- 10代の体は、アルコールを分解するのが遅い
 - 10代の脳は、アルコールの影響を受けやすい
- 未成年者の飲酒は、こうしたことから、様々な悪影響を起こすことにつながっていきます。



神経細胞が増え、どんどん発達している途中の10代の脳は、アルコールの影響を大人よりも強く受けてしまいます。

アルコール
お酒

脳へのダメージ強！
発達に悪影響

依存症に
なりやすい！

そもそも法律で禁止されています

未成年者飲酒禁止法

アルコールを
分解する働きが
未発達！



なぜ
ダメ？



関係した
まわりの大人が
罪に問われます



●脳の細胞を傷つける！

アルコールは、脳の神経細胞を傷つけます。未成年者の脳は、大人よりも判断・記憶をつかさどる前頭葉や海馬が萎縮しやすく、**学習能力や判断力が低下することが、実験でわかっています。**



自覚症状がなくても、少しずつ学習能力などが低下していきます。

●危険な行動をとりやすい



思春期の脳は、理性よりも感情に左右されやすい。飲酒はさらに感情の抑制をなくすため、暴力事件や事故、危険な性行為などにつながりやすい。

●急性アルコール中毒を起こす



アルコールが分解されずに体内に残り、脳がアルコールに敏感に反応してしまうため、中毒になりやすい。

呼吸など生命を維持するための器官「脳幹」が、アルコールでマヒし、機能しなくなると、死に至ることがある。



マヒした部分



脳幹までマヒ